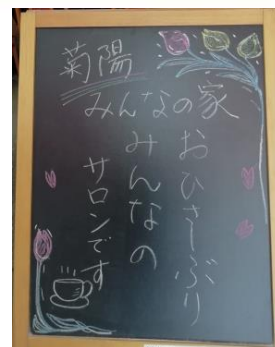


仮設住宅を退去しても みんなで一緒に集まりたい



1 活動の概要

活動名	みんなの家の会
対象地域	菊陽町
運営主体	菊陽町の元仮設住宅の住民グループ
活動の種類	①集いの場 ②見守り活動 ③防犯・防災活動 ④困りごと・生活相談 ⑤移動・送迎支援 ⑥地域のイベント ⑦その他（ ）
活動日時	毎月第2木曜日 10:30～
活動場所	ほっとステーション武蔵ヶ丘（地域の縁がわ事業）
参加費	無料（食べ物などは、持ち寄り）
対象者	菊陽町の元仮設住宅の入居者
協力団体	武蔵ヶ丘ショッピングセンター商店街、 菊陽町社会福祉協議会、ボランティア
運営財源	場所は、菊陽町社会福祉協議会が実施する地域の縁がわ 「ほっとステーション武蔵ヶ丘」を提供
備考	

2 活動を始めたきっかけ

熊本地震後、光の森仮設団地では、地域支え合いセンターによるサロン活動が週2回行われていた。平成31年2月頃から、今後地域支え合いセンターが閉鎖した際に、サロン活動をどうするかということについて、参加者と話し合いを継続的に実施。その中で、「熊本地震で同じ経験をした人達と集まりたい」「退去した後も集まれる場所を作りたい」との意見で一致した。

場所や運営についても、話し合いで検討を行った。場所は、町社協より提供があり、運営は、参加者で話し合っ決めていくことになった。

3 活動の内容

・集いの場、おしゃべり会

仮設住宅にいた人達が集まり、自由に話をする場を作ることを目的に実施。

参加者は、現在3～6人程度。自身の近況や、仮設で一緒だった方々の情報交換などを行っている。

食べ物は持ち寄りで参加。



4 特徴やポイント

- ・仮設住宅の頃から関わっているボランティアの方も、継続的に参加。
- ・同じ経験をした人達が、気軽に寄れるところ。(元菊陽町民や、被災し転居により菊陽町に引っ越した方なども参加可能)

5 課題（現在と今後）

- ・できる限り、この場（集まり気軽に話せる場）を続けていきたい。

6 問い合わせ

菊陽町社会福祉協議会 ☎ 096-337-6830